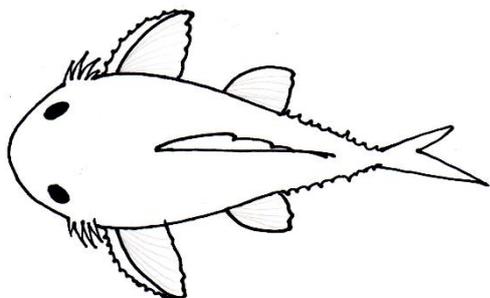


キングタイガーペコルティアの繁殖を楽しもう

繁殖可能なキングタイガーペコルティアの雌雄

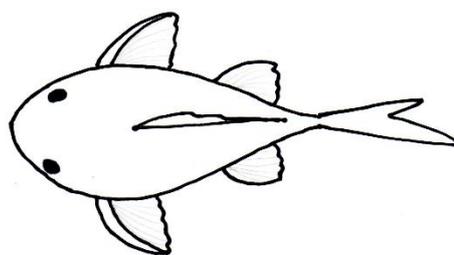
オス

胸鰭、尾筒どちらもトゲトゲしている
テリトリー意識がある



メス

しっかり育っていてお腹に卵がある
(膨らんでいる)



必要なもの(あるといいもの)

- ・30cm～の水槽
- ・ヒーター
- ・フィルター
- ・水替え用品
- ・産卵筒
- ・隔離箱
- ・シェルターや流木
- ・ベビーブラインシュリンプ
- ・冷凍赤虫
- ・人工飼料
- ・マジックリーフ



まずはお見合いから！！

プレコのオスとメスにも相性があります。オス・メスが確定したプレコを一つの水槽で飼育します。その際オス1匹に対してメスを複数匹入れると効率よく相性を確認できます。メスの体に白く舐められた傷が見当たる場合はあまり相性良くないかも・・・??

数日間様子を見てみる

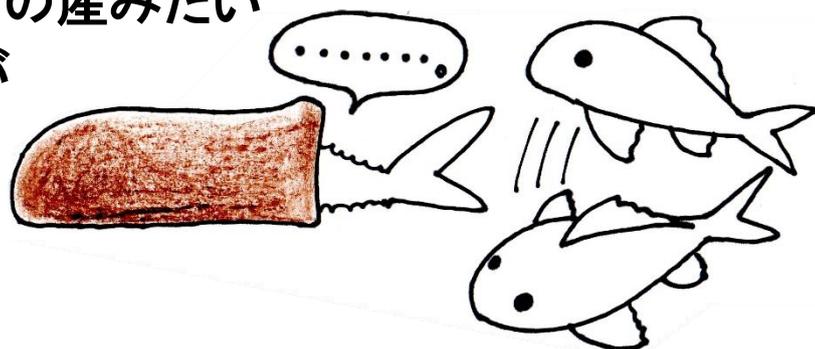
最初はオスが産卵筒の中でジッとしていることが多いです。メスは流木やシェルターの隙間に身を潜めています。

メスが稀に産卵筒に入ってしまうことがありますが、それはほかの隠れ家が気に入らない時に多く見られます。

その場合は他のシェルターなどを追加すると良いです。

お腹パンパンのメスがオスの入っている産卵筒の入り口付近でウロチョロし始めたら、メスの産みたい

アピールです。後はオスが受け入れてくれるのを待ちます。



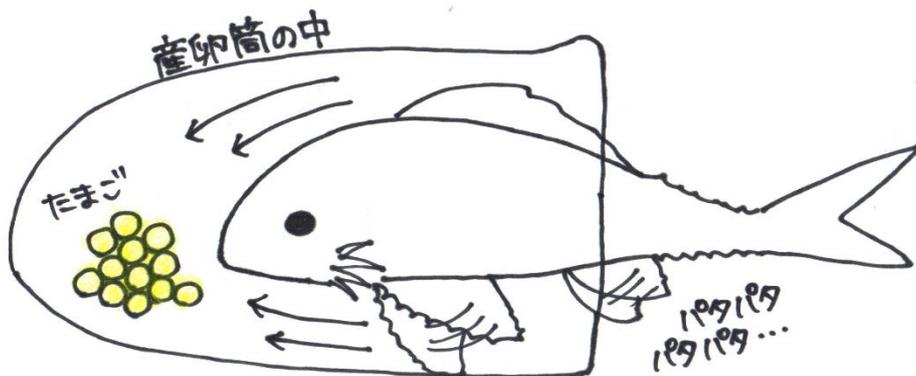
キングタイガーペコルティアの繁殖行動

オスがメスを受け入れると繁殖行動が始まります。産卵筒の奥にメス、手前にオスがポジションを取ります。そこから数日間オスが体をプルプル小刻みに振動させ、メスの産卵を促します。そしてメスの産卵準備が整うとペアは一度産卵筒の外に出て、メスは尾ひれ側から産卵筒に入り直し、奥に産卵します。

通常オスのプルプル開始から2~4日以内に産卵は終了しますが、1週間ほど続く場合は産卵が上手くいっていないことが多いです。産卵を終えるとメスは産卵筒から出ます。疲れて食欲低下していることもあるので、冷凍赤虫など嗜好性の高いものをあげて体力回復させてあげましょう。

オスによる子育て

そしてここからはオスが子育てを行います！ヒレを常時パタパタさせて産卵筒の奥に新鮮な水を送り続けます。無精卵の場合は食卵します。子育てが初めてのオスは有精卵・無精卵に関わらず食卵してしまうことが多いですが、プレコは1度繁殖行動を経験すると何度もするので焦らず次を待ちましょう。



人工ふ化による子育て（応用編）

手間はかかりますが、食卵や卵の蹴り出しが多い場合は人工ふ化に挑戦してみましよう！手順①産卵が確認出来たら産卵筒を振ってオスと卵を強制的に取り出します。②隔離ケースに卵のみ入れます。③水カビが卵に付かないようにエアレーションをかけて卵がゆらゆら揺れるように管理します。④万が一水カビが発生した場合はスポイトなどで綺麗に取り除いてください。人工ふ化する場合、卵の取り出しは産卵から4日目以降がオススメです。(卵が硬くなり取り出しやすい)



エアレーションが接続できる隔離ケースが便利♪

稚魚を育てよう！！

産卵から1週間ほどでふ化します。稚魚はヨークサックの栄養を吸収しながらある程度の大きさまで成長します。

ヨークサックの吸収が終わった稚魚にはマジックリーフや冷凍のベビーブラインシュリンプを溶かして与えましょう。マジックリーフは重りをのせて沈めてあげましょう。ベビーブラインシュリンプは水に溶かしてスポイトで優しく吹きかけるようにあげましょう。



少し大きくなったら人工飼料もあげてみましょう。



2週間ほど経つとしっかり人工飼料を食べるようになりますが、隠れ家としてもエサとしても使えるマジックリーフはそのまま入れておきましょう。そして稚魚同士の喧嘩を防ぐために、隔離ケース内に流木やシェルターなどを入れておくとさらに良いです。



冷凍ブラインベビー

隠れ家にも餌にもなる
マジックリーフ



オクト沈下性フード

- ・エサは1日1回ではなく、少量をこまめに与えよう！！
- ・水質の変化やPHの低下に弱いので注意！！
- ・マジックリーフはあるとかなり便利！！